



営農NEWS



ダイズ病害虫の防除を徹底しましょう

ダイズの生育中には、種々の病害虫が発生します。特に、莢や子実被害を生じる病害虫の発生は、ダイズの収量や品質の低下を招いて大きな減収となります。

主な**莢害虫**としては**ダイズサヤタマバエ**、**マメシクイガ**、**シロイチモジマダラメイガ**、**サヤムシガ**類などがおり、さらに子実を吸汁加害する**カメムシ**類などがいます。また、**茎葉**を主に**食害**し、多発生して暴食すると丸坊主にしてしまう害虫に、**ハスモンヨトウ**、**オオタバコガ**、**マメハンミョウ**などがいます。

病害虫発生予報 8 月号（県病害虫防除所）によりますと、8 月におけるダイズを加害するチョウ目幼虫やカメムシ類の発生量は、**平年並～やや多くなると予測**しています。

子実病害としては**紫斑病**があり、開花期以降から成熟期までに連続した降雨があると発生が多くなりますので、その場合は注意が必要です。

これらの病害虫は、主に**ダイズの開花期から子実肥大期にかけて被害が伸展**しますので、**この期間における防除の徹底**が特に大切になります。8～9 月にかけてダイズ圃場の病害虫をよく観察し、適期、適切な防除に努めてください。

＜防除のポイント＞

- 1 **ダイズの開花**は、播種時期や品種によって異なります。仮に 6 月下旬の播種ですと、平年ではタチナガハやハタユタカで 8 月上旬頃に、納豆小粒で 8 月中旬頃に開花します。**防除時期の簡易な目安となるのは開花してからの経過日数**ですので、圃場のダイズをよく観察し、基準となる開花した日を記録して防除時期の参考とします。
- 2 **ダイズ害虫**は種類が多く、加害や防除時期が複雑で微妙に異なります。そこで目安として、**開花後 10～15 日頃より約 10 日～2 週間間隔で 3～4 回の薬剤散布が必要**になります。前半はサヤタマバエや莢内子実を食害するシロイチモジマダラメイガ等が中心で、中～後半はカメムシ類や食葉性のハスモンヨトウ、オオタバコガが中心となります。なお、気象条件によってカメムシ類やハスモンヨトウ等が**多発生した場合は、適宜、追加防除が必要**になります。
- 3 紫斑病の防除は、**開花後 15～40 日間に 1～2 回の薬剤散布を実施し、その後も降雨が続く場合には追加防除を行って**ください。
- 4 **ハスモンヨトウやオオタバコガ幼虫は老齢になると薬剤の防除効果が低下する**ため、圃場をよく観察し、**若齢期のうちに防除**を行ってください。なお、その際は葉裏や株元にも十分薬液がかかるように散布してください。
- 5 薬剤防除の際は、**薬剤の収穫前日数に十分注意**し、また、系統の異なる薬剤でローテーション防除をしてください。

第 1 表 ダイズ主要害虫の主な防除薬剤（平成 29 年 8 月 2 日現在）

薬剤名	希釈倍率または使用量	収穫前日数／使用回数	対象害虫				
			ハスモンヨトウ	シロイチモジマダラメイガ	マメシクイガ	ダイズサヤタマバエ	カメムシ類
スミチオン乳剤	1,000 倍 1,000～1,500 倍	21 日前まで／ 4 回以内		○		○	○
トレボン乳剤	1,000 倍	14 日前まで／ 2 回以内	○	○	○	○	○
トレボン粉剤 DL	4kg/10a	14 日前まで／ 2 回以内	○	○	○	○	○
スタークル顆粒水溶剤	2,000 倍	7 日前まで／ 2 回以内				○	○
プレオフロアブル	1,000～2,000 倍	7 日前まで／ 2 回以内	○		○		
プレバソフロアブル 5	4,000 倍	7 日前まで／ 2 回以内	○		○		
アニキ乳剤	2,000～3,000 倍	前日まで／ 3 回以内	○				
アタブロン乳剤	2,000～4,000 倍	14 日前まで／ 2 回以内	○				
キラップフロアブル	2,000 倍	7 日前まで／ 2 回以内					○
MR. ジョーカー粉剤 DL	4kg/10a	7 日前まで／ 2 回以内					○

注) 1. 無人ヘリコプターを使用する場合には、それぞれの農薬使用基準を遵守して使用してください。

第 2 表 ダイズ紫斑病の主な防除薬剤（平成 29 年 8 月 2 日現在）

薬剤名	希釈倍率又は使用量	使用時期 / 使用回数
アミスター 20 フロアブル	2,000～ 3,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～ 4,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
ゲッター水和剤	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
マネージ DF	3,000 倍	収穫 30 日前まで / 2 回以内
Z ボルドー	500 倍	— / —

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※ JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040